

教科名	作業学習（家庭総合科）	学年	2 学年
-----	-------------	----	------

目 標	縫工や製菓などの作業、製品の意識調査、企画、受注、制作、販売、管理などを通して、生徒の社会で働くための基礎的・基本的な能力を高めるとともに、実践的な態度を育てる。
学年の目標	・ 作業に関する基礎的な知識や技術の定着を図り、作業や行動の幅を広げる。 ・ 働く上で必要な姿勢や態度・コミュニケーション能力を育てる。

月	時 数	単元名 題材名 【12 の力】	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (各段階 A～D の4評定で総合評価)
4		○オリエンテーション	【知識及び技能】 ・1年間の学習予定を知り、活動内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の課題を整理し、目標を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・すすんで仕事を見つけたり、仲間と協力したりして準備・片付けに取り組むことができる。	・2学年の学習内容について知る。 ・昨年度の振り返りを行い、個人の目標を立てる。 ・仲間や先輩と協力して準備や片付けを行う。	【知識及び技能】 ・1年間の学習予定や活動内容について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の課題を整理し、目標を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分から仕事を見つけたり、仲間と協力したりして準備や片付けに取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
5		○さくらプロジェクト ・受注式	【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の役割が分かり、今後の作業計画について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・町から受注を受ける活動を通して、地域社会に貢献する意識を高める。	・さくらプロジェクトの目的や活動内容について知る。 ・次年度入学生分の製品受注を受け、制作の見通しをもつ。 ・作業計画について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の役割を理解し、作業計画について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・受注内容を理解し、活動に対する意欲を高めることができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
5 ～ 10		○学校祭販売製品 ・布製品	【知識及び技能】 ・作業工程を理解し、正しく作業を進めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要とされる場面で適切に報告や相談をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・販売製品の意識をもち、意欲的に製品製作に取り組むことができる。	・学校祭で販売する製品を製作する。	【知識及び技能】 ・作業工程を理解し、正しく作業を進めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・必要とされる場面で適切に報告や相談をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・販売製品の意識をもち、意欲的に製品製作に取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
11 ～ 2		○さくらプロジェクト製品製作	【知識及び技能】 ・正確な作業を意識して作業を継続することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作業に取り組んできた成果や課題を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・活動の目的を理解し、積極的に作業に取り組むことができる。	・次年度入学生分の製品受注を受け、制作の見通しをもつ。 ・作業計画について考える。	【知識及び技能】 ・正確な作業を意識して作業を継続することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作業に取り組んできた成果や課題を振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の目的を理解し、積極的に作業に取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
12		○学校祭 ・オリエンテーション ・即売会準備 ・即売会 ・後片付け・反省	【知識及び技能】 ・販売の手順や方法が分かり、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・役割分担や販売場面に適した行動を意識して活動することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割に責任をもち、仲間と協力して取り組むことができる。 ・さくらプロジェクトの製品を製作する。	・販売会の流れや必要な準備、役割分担について知る。 ・自分の役割に責任をもって取り組む。 ・仲間と協力して準備や販売を行う。	【知識及び技能】 ・販売の手順や方法が分かり、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・役割分担や販売場面に適した行動を意識して活動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の役割に責任をもち、仲間と協力して取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)
3		○製菓作業の基本	【知識及び技能】 ・調理における衛生管理について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全や衛生を意識して取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・衛生管理や調理における工程に興味をもち、作業に関わることができる。	・製菓作業の基本について学習する。 ・衛生管理の大切さについて知り、意識を高め実践できるよう取り組む。 ・練習として製菓製品を製造する。	【知識及び技能】 ・調理における衛生管理の基本について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全や衛生を意識して取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衛生管理や調理における工程に興味をもち、作業に関わることができる。
					評価方法 ・実習の様子、出席状況、実習の振り返り状況(作業日誌)

- 【補足】
- ・ 2学年では、1学年で学んだ内容から段階的に発展的な内容を取扱い、学習する。
 - ・ 縫工部門の主な作業内容は、さくらプロジェクトの製品製作、学校祭販売用の製品製作。
 - ・ 年度末の3月に、1・2学年合同で製菓部門の基本について学習する。